

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-161	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
部分開口 構造用合板補強工法					〒				
大壁「押入」裏棧あり					電話	Fax			
概要	技術概要 押入の床及び天井の間で段板を除いた部分を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく補強が可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	29,782 円/kN (2P 換算)	
							設計見積り例	あり	
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲								
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚9mm以上								
	釘 N50, CN50 @150以下								
	間柱、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
壁基準耐力				壁基準剛性					
3.12kN/m				438kN/rad./m					
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.6$ 壁基準耐力 $5.2 \times 0.6 = 3.12$									
設計方法									
①柱接合部による低減 取付部分が健全であること									
②劣化による低減 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									
写真・図									
					部分開口 $a+b \leq 370\text{mm}$ $c+d \leq 400\text{mm}$ それぞれの構造用合板 高さ 400mm 以上				
					上下受材は 正面から見て 45mm				
大壁 裏棧あり									
構造用合板 厚9mm以上									
釘 N50, CN50 @150mm以下									
四周、間柱打ち									
上下受材 90×45mm以上									
釘 柱に対し2-N75斜め打ち、									
間柱に対して、継手受材、上下受材負け									
間柱三ツ割材以上									